

Interview

荒尾市 林田繁さん

40年ほど前、競馬場の厩舎やスタンドの建築に携わりました。廃止はやはり寂しいですね。昔は馬が足りず、佐賀から馬をレースに間に合うように借りてきたりしていたことを懐かしく思い出しました。



熊本市 飯迫サエ子さん

馬が大好きになって、競馬を始めてから3年になります。荒尾競馬のメール会員になって、ずっと通ってきました。とても寂しいですが、馬も騎手の皆さんも他の競馬場に行っても頑張してほしいです。



荒尾競馬の有終の美 記憶に深く刻む一日



冷え込み厳しい年末の早朝、荒尾競馬場の入口には、開場を待つ人の長い列ができました。荒尾競馬最終開催日の12月23日(金・祝)、およそ9千人が競馬場を訪れました。競馬ファン、初めて来場する人や親子連れなどが、「海の見える競馬場」として愛された荒尾競馬場での最終レースを目に焼き付けようと、全国各地から訪れました。この日は入場料が無料になり、乗馬体験など多彩な催しが実施されました。また、300枚限定で発売された特別観覧席の有料入場券は、朝のうちに完売しました。最終第9レースは、荒尾競馬場に所属の全騎手13人と騎手候補生1人、計14人が登場し、全員で荒尾のレースを閉めくりました。全レース終了後に行われたグランドフィナーレのセレモニーでは、騎手や調教師など関係者に温かい拍手が送られました。その後馬場が入場者に開放され、荒尾競馬場は83年間の長い歴史に幕を下ろしました。なお、荒尾競馬組合は、本年3月31日をもって解散する予定です。

荒尾競馬 ラストラン

～83年の歴史に幕～

平成23年12月23日。現存する地方競馬場として最も古い歴史を誇り、日本最南端の地方競馬場であった荒尾競馬は、三池炭鉱とともに荒尾市を語るに欠かせない代名詞の一つでした。この日、長い歴史に幕を下ろした荒尾競馬は、訪れた多くの人の拍手と歓声、労いの言葉、そして惜別の涙に包まれていました。



4 最終第9レースに出走した馬と騎手の名前が記されたボード
5 グランドフィナーレには騎手・調教師など関係者がステージに昇り、ファンにあいさつ。
6 最終レース終了。眩しく輝く馬場にむけて、スタンドから歓声と拍手があふれた。

2 1 | 有明海からの潮風を切つて、人馬が鮮やかに駆け抜けた。他の競馬場より馬を近くに感じられるのが魅力だと話すファンは多く、廃止を惜しんでいた。3 | モニターの前でオッズをにらむ。多くの人が最後まで競馬を存分に楽しんだ。

